

東京片貝会報

発行 東京片貝会
責任者 佐藤祐一 事務局 黒崎勝
〒252-1132 駿瀬市寺尾中39-21
電話 0467-76-3154

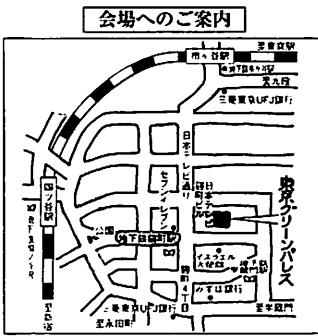
東京片貝会

第49回総会御案内

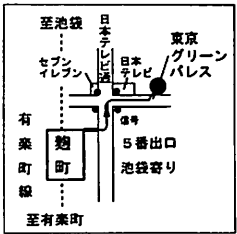
青葉が目にしみるよい季節となりました。
第49回総会を左記の通り開催致します。
故郷片貝は、高齢化率の上昇、児童数の減少、商店街の後退などで寂しい状況のようですが、美しい自然を背景に、元氣な活性化の動きも起きています。頑張っておられる故郷の方々をお招きします。楽しく語りあいましょ。

記

日時 平成20年6月29日(日)午後一時(正午より受付)
会場 東京グリーンパレス(全国市町村職員共済組合連合会
東京都千代田区二番町二番地
電話 03・5210・4600
会費 七、〇〇〇円
お願い 返信は6月16日(日)までをお願いします。



会場へのご案内
・東京メトロ有楽町線 麹町駅(番町出口5)徒歩1分
・JRまたは都営地下鉄新宿線、東京メトロ南北線 市ヶ谷駅 徒歩7分



会の動き

理事会

12 16

於：新潟県人会館
佐藤会長以下20名
会報発送 約八百部
・新年会打ち合わせ
・50周年記念関係打ち合わせ

新年祝賀会

1 27

於：東京グリーンパレス
出席者81名
会員80名、片貝来賓1名
(二面参照下さい)

理事会

4 20

於：東京グリーンパレス
佐藤会長以下17名
・総会 打ち合わせ
・今期会計決算について
・50周年記念式典関係
打ち合わせ

東京片貝会 会費

会費は、年二〇〇〇円とさせていただきます
会報と同封される郵便振込用紙、または新年会、総会で納入をお願いします。
母校を励ます会は、三面をご参照下さい。

予告 二〇〇九年

東京片貝会創立50周年 を迎え記念行事を計画

東京片貝会は、二〇〇九年(来年度)創立50周年を迎えます。記念総会は、平成二十一年七月五日(日)上野精養軒で十二時より開催の予定です。

会員の皆様の心に残る記念行事をと計画しております。皆様のアイデアとご理解、ご協力を心からお願ひ致します。

東京片貝会

創立50周年を迎えて
会長 佐藤 祐一

いよいよ明年には東京片貝会創立50周年を迎えます。新幹線も関越自動車道も無く、市外電話さえままならないころ片貝からはるばる東京に出てこられた皆さんにとつて本会は心のあるさとなり、どんなにか支えになったことでしょうか。この機会に本会を設立された初代会長安達龍作氏をはじめとする設立のためにご努力なされた諸先輩、そして、佐藤量八氏、勝又功氏、阿部修次氏と続く歴代会長と役員の方々、先輩会員の方々に心から感謝いたしたいと思います。

来年度総会を50周年記念パーティーとするために、1年以上前に黒崎勝副会長・事務局長を委員長、とする実行委員会を発足させました。最初の難問は会場の決定でした。

「明日の片貝を 考える集い」を開催

片貝協議会は、地域全ての組織、団体の協力のもとに、「明日の片貝を考える集い」を十二月八日、片貝総合センターで開催した。片貝を何とかしよう、何とかならんかと考えている人達が多く、町民百六十超の参加があった。集いは、小林正俊長岡農林振興部長の基調講演と四名の地元の方々の意見発表があった。これを踏まえて、七月十九日、地域活性化検討準備会が発足し、今後の活性化を図ることが決まった。建設的な考えで行動できる方々の積極的な参加を呼び掛けている。

四名の方の意見発表テーマ
根本聡子さん
「片貝の将来を考える」
黒崎祥宏さん
「自然と共存する新しい町づくりの提案」

「片貝バイパス沿いの住宅造成及び景観整備と自然との共存」
千葉 智さん
「どこに在るの?どこに向かうの?その方向は?」
大塚浩一さん
「リタイア後のリターン促進(片貝のあり方)」
(連絡は片貝協議会事務局まで)

「振込用紙でお願いします。」
一、記念誌掲載広告募集
一頁 ……二万円
1/2頁 ……一万円
1/4頁 ……五千円
申し込み…事務局まで

新年会 開催

平成20年1月27日
東京グリーンパレス

ふるさと談義に花が咲き

平成二十年度の新年会は二月二十七日、新しい会場で、会員80名、来賓1名の81名の参加で開催された。

司会は、芝強さん(38卒)と内藤富美子さん(43卒)の息のあった二人。開会の辞は、黒崎勝(28卒)副会長からあり開会された。



佐藤祐一(27卒)会長の挨拶では、「新しい会場を探すのに大変苦労をした。来年は50周年を迎え、七月五日上野精養軒で開催の予定である。最近情 報技術 の発達 がめざ ましく 新潟日 報の縮 小版も 見るこ とがで きるが、 小千谷の情報が少ない。また、Eメールが盛んであるが、顔と顔を合わせての話が少なくなってきた。本日は顔と顔を合わせて、楽しい一日として下さい。」と述べられた。

母校を励ます会の本田秀幸(37卒)会長から、「昨年は、中学校の60周年記念行事として、講演会を行ったが大変好評だった。励ます会に対して本日も沢山のご寄付を頂き、郵送などで多くの方からも頂いており、大変感謝している。」とお礼の挨拶があった。

その後、谷井靖夫小千谷市長からの祝電の披露があった。続いて、片貝からの来賓の本田正憲氏(片貝商工振興会会長)から、小千谷ファンクラブへの加入、小千谷市物産展(商工会オカミサン達主催)への訪問、日本海水浴場へ足を運んで下さい。との要請があった。

乾杯は、参加最高齢の浅田鉄二さんの元気な音頭で行われ、懇親会に入った。

恒例となった「うおぬまこシヒカリ」の抽選会が行われ、今回はJAおぢやの友田会長からの差し入れもあった。続いて「片貝花火カレンター」

「花火写真」などのプレゼント抽選があり盛り上がった。宴に花を添える日舞(忍足良子さん・写真)や、日頃きた

えたカラオケで時間はアツという間に過ぎ、皆で「ああ上野駅」そして、「木遣り」の大合唱と大盛況となった。万歳三唱を阿部前会長のこ 発生で行われ、閉会の辞は、藤塚悟(31卒)副会長で、片貝のヤブツバキの群生は素晴らしい、良い所を見て欲しい。次回総会へ皆さん誘い合つての再会を願ひ閉会となった。



【新年会出席者氏名】(敬称略) 昭和5、20 浅田鐵二、黒崎音吉、佐藤ヨシ、阿部源三、山岸慶昭、中川克子、松下利夫、石井ユリ、上田益美、江澤キヨ、氣田登美、小宮幸雄、佐藤昭六、中島ヨシ、西山和子、星シズ、山口光雄

【昭和21、30】安達和三、安達弘男、阿部修次、神林勝夫、黒崎晴郎、佐藤安治、清水好男、高野賢、山口明男、吉原三代治、浅田義男、大塚順一、忍足良子、小宮トシエ、神林佳子、豊島文枝、木村ナガ、小嶋ミツ子、大坂照子、安藤眞里子、石川春子、瀧手俊一、佐藤祐一、藤塚浩治、松岡規子、松岡聡、相内テル、奥瀬洋子、黒崎 勝、吉原武夫、吉原 宏、木下伸、吉井均、安達弘之

【昭和31、40】大塚國夫、小野塚清、金子芳子、黒瀬良子、小宮善興、芝満雄、藤塚 悟、諸我時夫、安達 弘、井上知子、神林省三、五十嵐哲郎、大矢美敬、上藤イツ、黒崎正雄、芝文夫、山家恵美子、寺町明美、本田秀幸、小野塚和夫、芝 強、本田利美、三重堀国治、佐藤正志、相崎俊夫

【昭和41】 安達 徹、小林和弘、内藤富美子、徳永隆浩、徳永雅史

【昭和41】 安達 徹、小林和弘、内藤富美子、徳永隆浩、徳永雅史

【昭和41】 安達 徹、小林和弘、内藤富美子、徳永隆浩、徳永雅史

【昭和41】 安達 徹、小林和弘、内藤富美子、徳永隆浩、徳永雅史

平成19年度東京片貝会・会計報告 収支計算書

(自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前期より繰越	778,194	総会費	673,888
年会費(363名)	726,000	新年会費	540,340
総会費(81名)	567,000	役員会費	7,862
新年会費(81名)	567,000	片貝祭奉納祝酒費等	70,000
ご祝儀(20名)	151,000	新潟県人会関係費	30,000
寄付金(73名)	179,762	片貝中学60周年祝儀	150,000
郵便貯金受取利息	1,051	通信費	114,720
合計	2,970,007	会報印刷費	345,867
		事務費	10,461
		小千谷新聞購読料	11,616
		郵便振替等手数料	30,225
		交通費(60周年参加費)	40,000
		次年度繰越金	945,028
合計	2,970,007	合計	2,970,007

貸借対照表

平成20年3月31日		平成20年3月31日	
科目	金額	科目	金額
郵便通常貯金	886,846	平成20年度会費	336,000
郵便振替	4,182	次年度繰越金	945,028
定額貯金	290,000		
50周年総会前払費	100,000		
合計	1,281,028	合計	1,281,028

上記のとおりご報告いたします。 平成20年3月31日

会計 諸我時夫

上記は適正であることを認めます。

会計監査 本下伸

会員短信

小宮 繁雄 (昭11卒) いつもお世話様です。残念ですが都合で欠席いたします。

長岡 利夫 (昭23卒) 欠席いたしますことお許し下さい。当日、小生等組織する会の総会が開かれ、役員改選も含み出席の要あり。ご盛会を祈念申しあげます。

松本 アイ (昭24卒) いつもお世話様です。会報にて片貝の様子がわかり有り難うございます。御盛会をお祈り申し上げます。

新澤 須美 (昭24卒) 会報を楽しみに読んでおります。役員の皆様のご尽力に感謝します。

佐藤 尚巳 (昭25卒) 昨年、古稀の祝いとして花

火を揚げに田舎へ帰り、同級生と会ってきました。今年はいわががよい年でしよう。

松岡 規子 (昭27卒) 会報76号の「片貝まつり」の挿入画は、本当に良いですネ。涙が出そう。こうして片貝の心が続くといひですネ。

野崎 真知子 (昭29卒) 十二月始めに帰省した折りに名残りの紅葉に初雪が被り、思わずはっとする美しいふるさとの光景に出会いました。

山田 富子 (昭30卒) いつも会報を届けて頂きありがとうございます。御座います。「片貝人物小伝」等片貝を知ることが出来て、懐かしく思いました。

平沢 和子 (昭32卒) いつも会報ありがとうございます。楽しみに読ませていただきます。

【昭和21、30】安達和三、安達弘男、阿部修次、神林勝夫、黒崎晴郎、佐藤安治、清水好男、高野賢、山口明男、吉原三代治、浅田義男、大塚順一、忍足良子、小宮トシエ、神林佳子、豊島文枝、木村ナガ、小嶋ミツ子、大坂照子、安藤眞里子、石川春子、瀧手俊一、佐藤祐一、藤塚浩治、松岡規子、松岡聡、相内テル、奥瀬洋子、黒崎 勝、吉原武夫、吉原 宏、木下伸、吉井均、安達弘之

母校を励ます会・報告

温かいご支援ありがとうございました

母校を励ます会からの報告

会長 本田秀幸

今年も多くの皆様から寄付をいただき、母校に図書費贈呈と教育講演会の活動を続けることが出来ました。誠に有り難うございます。小学校の後輩達のお礼の手紙には、進んで読書をしている様子が伺えます。先生方のご指導と共に、多くの先輩が母校を想い、会の活動に賛同いただいた結果であると思います。

第26回 教育講演会

講師 (内定) お知らせ

講師 太刀川 正美 氏

演題 「N・T・T通研の、研究者が考えていること

研究そして環境・防災について」

略歴 船出会(町裏出身)

片貝小、中学校卒業

長岡高校卒業

東京工業大学物理学科卒業

同大学院博士課程卒業

現職 N・T・T 厚木電気通信研究所・安全環境推進室

室長

「母校を励ます会基金協力者氏名

(敬称略・順不同)

(H19.8.15~H20.3.27)

新澤須美 松井正之、安達智子、

黒崎音吉、山岸慶昭、中川克子、

松下利夫、石井ユリ、中島ヨシ

星、シズ、佐藤昭六、小宮幸雄、

山口光雄、安達和、安達弘男、

神林勝夫、黒崎晴郎、山口明男、

吉原三代治、浅田義男、大塚順

、小嶋ミツ子、溝手俊、安

藤真里子、佐藤祐、藤塚清治、

相内テル、黒崎 勝、吉原 宏、

奥瀬洋子、吉原武夫、大塚國夫、

小宮善興、藤塚 悟、芝 満雄、

諸我時夫、安達 弘、井上知子、

神林省三、五十嵐哲郎、上藤イ

ツ、黒崎正雄、本田秀幸、小野

塚和夫、芝 強、佐藤正志、相崎

俊夫、安達 徹、小林和弘、内

藤富美子、徳永隆浩、徳永雅史、

日下部政子、芳川トシ、丸山春

小宮繁雄、川村朝子、太刀川三

郎、本田ユキ、浅田栄三、阿部修

平成19年度東京片貝会母校を励ます会・会計報告

収支計算書

(自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前期より繰越	1,077,759	図書寄付金	200,000
基金協力金(102名)	323,500	講演会費	20,000
受取利息	626	交通費	30,000
		事務費	252
		次年度繰越金	1,151,633
合計	1,401,885	合計	1,401,885

通算収支計算書

(自昭和58年5月 至平成20年3月31日)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
基金協力金	7,483,200	図書寄付(25回)	5,400,000
(延 2,803 名)		小学校130周年寄付金	200,000
受取利息	337,073	中越地震小・中見舞金	200,000
		講演会(24回)	360,000
		会費補助	35,000
		印刷・通信費	84,724
		交通費	310,000
		事務費	8,293
		懇親会費	70,000
		雑費	623
		次年度繰越金	1,151,633
合計	7,820,273	合計	7,820,273

貸借対照表

平成20年3月31日

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
郵便通常貯金	571,633	次年度繰越金	1,151,633
定期貯金	580,000		
合計	1,151,633	合計	1,151,633

上記のとおり報告いたします 平成20年3月31日

会 計 長 諸 我 時 夫

上記は適正であることを認めます。

会 計 監 査 杯 伸

次、松田フミ、高野 賢、豊島 文枝、橘喬、黒崎正、友田善智、吉原栄一、長岡利夫、山口 弘、青木マツエ、石上俊夫、倉田京子、安達 実、藤塚文顕、吉原靖子、久賀友作、守屋ヤウ、浅田京子、安達 隆、小松原美枝、野崎真知子、吉井 均、松本キイ、安達弘之、木曾忠治、黒瀬良子、浅田美智、夫平石和子、重原文明、渡辺千香子、平沢和子、浅田達夫、酒井幸子、大塚功績、浅田辰信、太刀川三雄、広沢雅子、本田利美、谷内 弘

津南で佐藤佐平治の心 映画化

(新潟日報二〇〇八年四月二日)

江戸時代末期の天保の大飢饉で食糧援助を行い、秋山郷の住民を救った小千谷の造り酒屋佐藤佐平治を映画化しようとする津南町の町民を中心に取り組み動き出している。二〇一〇年の上映を目指し、二月には「佐平治の心を今の世に」制作実行委員会を設立。四月からは会員拡大や資金集めを本格的にスタートさせる。

佐藤家は、現在の小千谷市片貝町で酒造などを営んでいた地主。代々当主が佐平治を襲名した。十九代と二十一代はそれぞれ江戸時代の天明、天保の大飢饉のときに、大規模な救援活動を行ったとされている。

映画化を目指しているのは二十一代佐平治。このときに救援

東京片貝会ホームページ

http://tokyokatakai.hp.infoseek.co.jp/
・Yahoo! プログ「東京片貝会」「片貝」
・携帯電話の i モードで 閲覧可能。
バーコード右記



会員近況

藤塚 悟さんの会社

葛飾区優良工場で表彰
藤塚悟さん(陽光会)が経営される新越精機(株)は、複雑な形状のプレス金型や治具を製造販売されている。この度、葛飾区の平成19年度の優良工場として、中小企業約三千八百社の中から顕彰された。東京片貝会では、副会長として活躍されている

井上知子(知子)さん

大正琴リサイタル

井上知子さん(十五哲会)の第六回大正琴リサイタルが三月九日杉並公会堂で開催された。井上さんは、趣味で始められて、現在琴流大正琴の大師範で、数多くの場で演奏されるCDソロアルバムも販売されている。会場では片貝会の方の顔も見え、大正琴特有の郷愁に溢れた演奏がなされ、拍手喝采であった。



佐藤佐平治像



はるかなる・は・今

H 19年12月から
H 20年5月まで

母校近況

■小学校 県シニア展

片小から多数入賞

第38回新潟県シニア展(絵画展)で、三年生の丸山裕紀さん、四年生の堀井航さん、五年生の高橋菜子さんが、奨励賞を受賞した。入賞作品は県内各地で展示された。

■特別賞、特選入賞

県中越教育美術展の入賞者が発表となり、特別賞の中越教育研究会賞小学三年の部で安達彩穂さんが受賞した。また特選に、一年、二年、四年の部で各一名が入賞した。

■元気に 新一年生47名入学

入学式は、四月七日に行われ、47名(2クラス)が新一年生となった。40名以上の新入生は、4年振り、全校生徒数は236名である。市内全体では、昨年度より28人の減。

■震災以降の教育対応

特別支援教員

震災以降の児童生徒の心理的動揺対策を初め正常な授業継続のために、特別支援教育の措置がなされており、地元から二名の方が勤務されている。また、支援とは別に理科科目専門の教員も居られる。

■中学校

第61回卒業式

37人の卒業生

三月六日、片貝中学校第61回卒業式が行われ、たけのこ学年37名が卒業した。小栗歩実さんの答辞では、「保育園から中学校まで、約十二年一クラスで共に過ごしてきた。五年後の自分たちの花火での出合いを楽しみにしている」と、想い出、夢、希望、感謝の言葉などが述べられた。

■片貝中学校同窓会入会式

同窓会の入会式は、三月三日開催された。新会名は、晴笑会(せいしょうかい)で、37名が仲間入りした。式は、安達隆同窓会会長の挨拶、来賓挨拶、そして市議会議長の吉原正幸先輩から「小千谷市の財政について」の講演があった。その後、同級会名のプレート取め、伝統芸能保存会から、木遣りの指導が行われた。

■本年の成人・厄年

成人	暖心会
33歳	翼翔会
42歳	友心会
50歳	船出会
還暦	となかい

イベント

■ペットボトル

クリスマスツリー登場

片貝商工振興会青年部は、地域の活性化を狙い、十二月九日「クリスマス・フェスタ」震災復興祈念エコ子供たちの未来(希望のひかりを)を片貝総合センター駐車場で開催した。ペットボトル千本で作った高さ三メートルほどのペットボトルツリーは、イルミネーションが点灯され、「サンタさんの抽選会」もあり、子供たちは大喜びであった。

■浅原神社初詣賑う

浅原神社の二年詣りは、天候にやや恵まれなかったが、除夜の鐘の代わりに百八発の花火はすっかり有名となり、ピーク時は列の最後尾が県道近くまでとなった。縁起物(破魔矢と御神酒のセット)は早々に完売となり、賽銭も例年とほぼ同額の二十数万円と報じられた。

■空手光武会 元気に寒稽古

空手の光武会は、小林光紀会長(浄照寺住職・陽光会)が主宰し、市内、長岡市など四ヶ所で教室を開いている。門下生は、八十余名いるが、外国で指導を行っている出身者もいる。一月六日、恒例の寒稽古を本部道場で実施し

た。裸足で街中をランニング、雪上で千本突き、水を被るなどの荒行が行われた。

四月六日には、小学生練習大会を開催、二十九人が参加した。片貝の子供たちは元気に頑張り、立派な成績だった。塞の神行事盛大に行われる

一月十三日、雪の少ない浅原神社境内で、炎と花火の寒の神が行われた。昼は、各町内の子供会の「モックラモチ・おんまいど」、煙火協会と商工振興会による「福もちまき」が盛大に行われ、小寒の神が点火された。夜の部は、成人「暖心会」により、参道の一〇八灯(ロソク)が点火され、来賓挨拶の後、42歳厄年「友心会」の「福餅まき」があり、メインの大小寒の神に点火と同時に新成人お祝いのスターマインが打ち上げられた。

炎がおさまると、スルメや餅を焼き、一年間の無病息災を祈念した。



■スポーツ振興の集い開催

平成十九年度のスポーツ関係で活躍した優秀選手や指導者、健康づくりに取り組んで

いる自主スポーツ団体、功労者などを表彰する「小千谷市スポーツ振興の集い」が開催された。功労賞として片貝の大矢孝四郎さんが、片貝体協の役員として尽力されたことで受賞された。優秀選手賞には片貝に該当者が無かった。

ガンバレ片貝、民生児童委員

■厚労大臣表彰受賞

片貝の吉井京子さん(75歳、四之町)は、四月七日、厚生労働大臣表彰を受賞し、市役所で伝達式が行われた。吉井さんは、平成四年から民生児童委員となり、十三年から十九年まで、副会長を務められた。

片貝読み聞かせ会開催
片貝読み聞かせ会(吉井京子会長十二名)は、四月五日忍字亭で読み聞かせ会を開催し、十数人の子供たちが聞き入った。会は、今年発足二十周年を迎える。活動は、毎月第一土曜日を基調とし、小学校、学童保育、幼児「火花キッズ」とは幅広い。

■伝統芸能巫女翁

県無形文化財指定なる小千谷市の四団体と、長岡市の七団体で組織する巫女翁連絡協議会の「巫女翁人形操り」が、県無形文化財に指定され四月十三日、報告会を開

催した。平成十五年片貝伝統芸能保存会の提唱により九団体で発足、十九年に忍字亭で今年に到った。今年の片貝まつりで、巫女翁人形展が開催される。帰省される方は、伝統ある、懐かしい人形を鑑賞して下さい。

春の叙勲
関 広一氏受章
政府は、四月二十九日付で、二〇〇八年春の叙勲の受章者を発表した。片貝の関 広一氏(72歳元小千谷市長)は、旭日中綬章を受章された。

片貝地区高齢者福祉施設とハウスの建設決定
片貝地区(小千谷西区)の高齢者福祉の地域ニーズにこたえるため「特別密着型小規模特別老人ホーム及び高齢者ハウス」が、四之町田阿部工務店跡地を中心とした地区に建設が決定した。平成二十一年三月末に開業予定で、経営主体は「社会福祉法人・長岡福祉協会」となる。

(公報きょうきかい第42号)

■あとがき

会報刊号は、昭和三十八年五月五日で、今年が15年目となります。少しでも故郷の空気が伝わるようお手伝いをさせて頂いています。小宮